



医療機関における参加型職場環境改善活動 患者の安全確保		
ガイドラインステップ	キーワード	
1 - 4 12 16。	(6つ以内)	・患者への安全配慮 ・参加型職場環境改善活動
改善・取組みの背景と課題	<p>仕事のやりにくさ(仕事のストレス)を減らして、安全・安心・良質な医療提供を目指すという病院の運営方針決定の結果、平成 18 年から 20 年 にかけて、メンタルヘルスアクションチェックリストを用いた職場環境改善プログラムに従い、参加型職場環境改善活動を実施した。リスクマネジメントを担当する副院長を総括責任者とする多部門から構成される支援グループと、外部専門家招聘を特徴とした。まず、現場の「良い点 3 つ、改善希望点 3 つ」を主題とするグループトークから始まったが、慣れない松葉杖歩行に挑戦する患者様や杖歩行の高齢者の入院患者をケアする整形外科病棟から、転倒防止などの患者の安全確保がテーマとして上がった。</p>	
改善・取組みの着眼点	<p>患者の安全確保(転倒および衝突防止)のための環境整備 杖歩行などの患者様にとって、廊下におかれた車いすなどが、通行の障害物となり、安全な通行を妨げていた 洗面所の濡れた床の上で、松葉杖に頼って歯磨きをしている患者さまの不安定さ ベッドサイドに置かれた患者様の杖や松葉杖が不安定で、倒れた杖をとるときの転倒事故や、他の患者様通行の障害物として転倒原因の1つとなっていた 廊下のコーナーで発生する下肢伸展固定の車いす使用の患者様の衝突事故</p>	
改善・取組みの概要	<p>参加型職場改善活動に参加をきっかけに、改善希望点として患者の安全確保を取り上げ、スタッフで検討を重ねた。 廊下に物を置かない。(ストレッチャーや車いすを指定の場所に置く: 定位置設定) 洗面所に手すりを設置 松葉つえ置きや杖置きグッズの考案 患者様の使用感を聞きながら、水道ホースや洗濯バサミを使った安価な改善 廊下のコーナーにミラー設置</p>	

<p>写真・図表・イラスト</p>	 <p>廊下改善前</p>		 <p>改善後</p>	
	 <p>洗面所の手すり</p>	 <p>廊下のミラー</p>		
 <p>つえ置き場前</p>	 <p>改善後</p>			
<p>効果</p>	<p>車いすなどの定位置設定により、廊下通行の障害物がなくなって、見た目もすっきりし、清掃も徹底でき衛生面でも改善が得られた。</p> <p>いすを使うのが面倒と判断する松葉杖使用の患者様でも、手すりを利用することで安全に心おきなく歯磨きができるようになった。</p> <p>杖や松葉杖が、患者様にとって使い勝手よく、安定しておけるようになった。</p> <p>廊下の角(死角)での衝突事故が減少した。</p>			
<p>このGPSの経験から学ぶことができるポイント</p>	<p>参加型職場環境改善活動は、現場での問題点分析および解決に対し、スタッフの速戦的実践的解決法が生み出され、入院患者様にとって快適な環境整備への関心も高まった。</p> <p>患者の安全確保のみならず患者満足度の向上を招いた結果、スタッフの自分たちの職場は自分たちで作るというモチベーションの向上やチームワーク結成および職場満足度にも貢献した。</p> <p>参加型職場環境改善活動は有効である。</p>			
<p>参考資料</p>	<p>「医療機関におけるメンタルヘルス向上のための職場環境チェックリスト」 吉川徹編 労働科学研究小出版部</p>			
<p>投稿者</p>	<p>坂田知子</p>	<p>e-mail</p>	<p>ftoku@csf.ne.jp</p>	<p>2009年12月14日</p>